

## 第4章 町民の意識

本町がめざすべき将来像を描くには、住民のニーズ等を把握することが不可欠であることから、「第5次矢祭町総合計画」及び「矢祭町総合戦略」の策定に当たり、まちづくりに関する「中学生アンケート調査」及び「町民アンケート調査」を実施しました。

本調査の配布・回収状況は以下の通りです。

### <中学生アンケート調査>

項目		内容
配布対象者		矢祭中学校2年生及び3年生
実施時期		平成27年6月
配布・回収状況	配布数	96票
	総回収数	95票
	回収率	98.95%
	内、有効票	95票

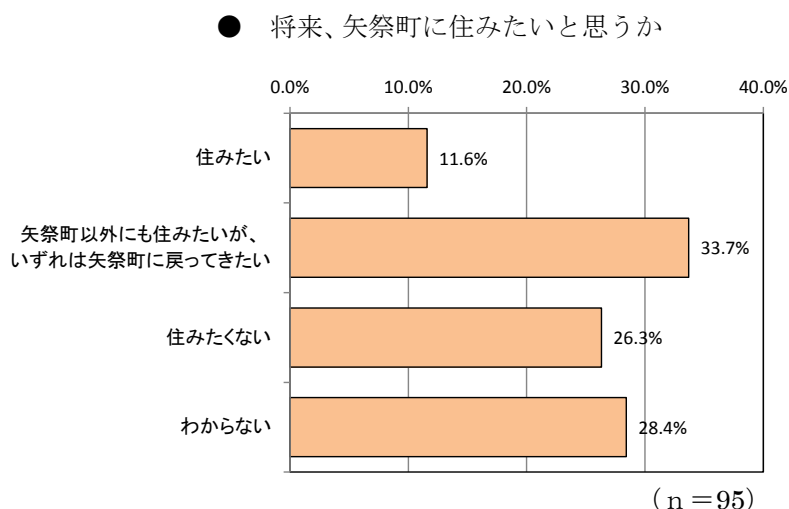
### <町民アンケート調査>

項目		内容
配布対象者		町内在住の16歳以上75歳未満の方
実施時期		平成27年8月
配布・回収状況	配布数	1,781票
	総回収数	841票
	回収率	47.2%
	内、有効票	841票

# 1 中学生の意識

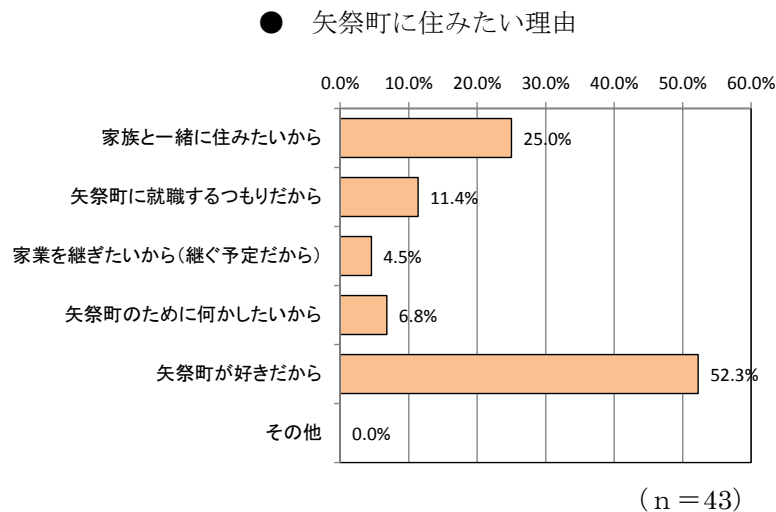
## ①定住意向について

「住みたい」と「矢祭町以外にも住みたいが、いずれは矢祭町に戻ってきたい」を合わせた『(いずれ) 住みたい』が45.3% (43人) となっており、「住みたくない」と回答した26.3% (25人) を上回っています。



## ②矢祭町に住みたい理由

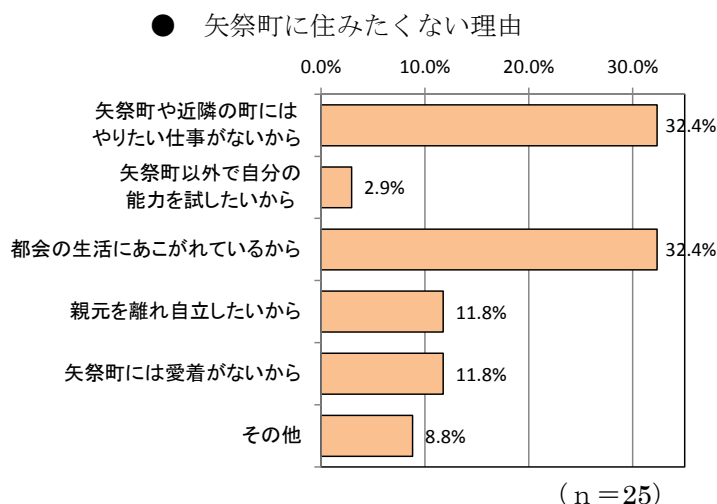
『(いずれ) 住みたい』と回答した43人について、その理由をみると、「矢祭町が好きだから」という回答が52.3% (23人) と最も多く、次いで「家族と一緒に住みたいから」が25.0% (11人) となっています。



### ③矢祭町に住みたくない理由

「住みたくない」と回答した25人について、その理由をみると、「矢祭町や近隣の町にはやりたい仕事がないから」「都会の生活にあこがれているから」がそれぞれ32.4%（11人）と最も多くなっています。

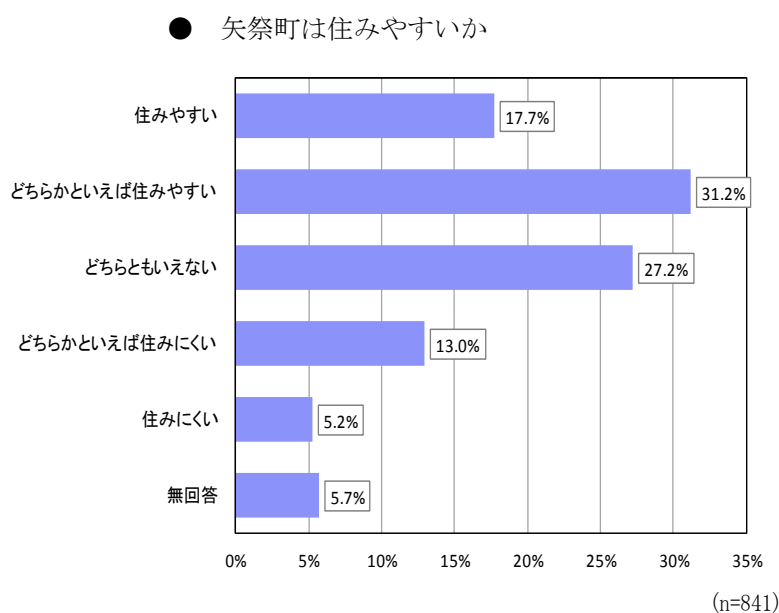
若者の定住促進の観点から、雇用の場の拡充が求められます。



## 2 町民の意識

### ①矢祭町の住みやすさ

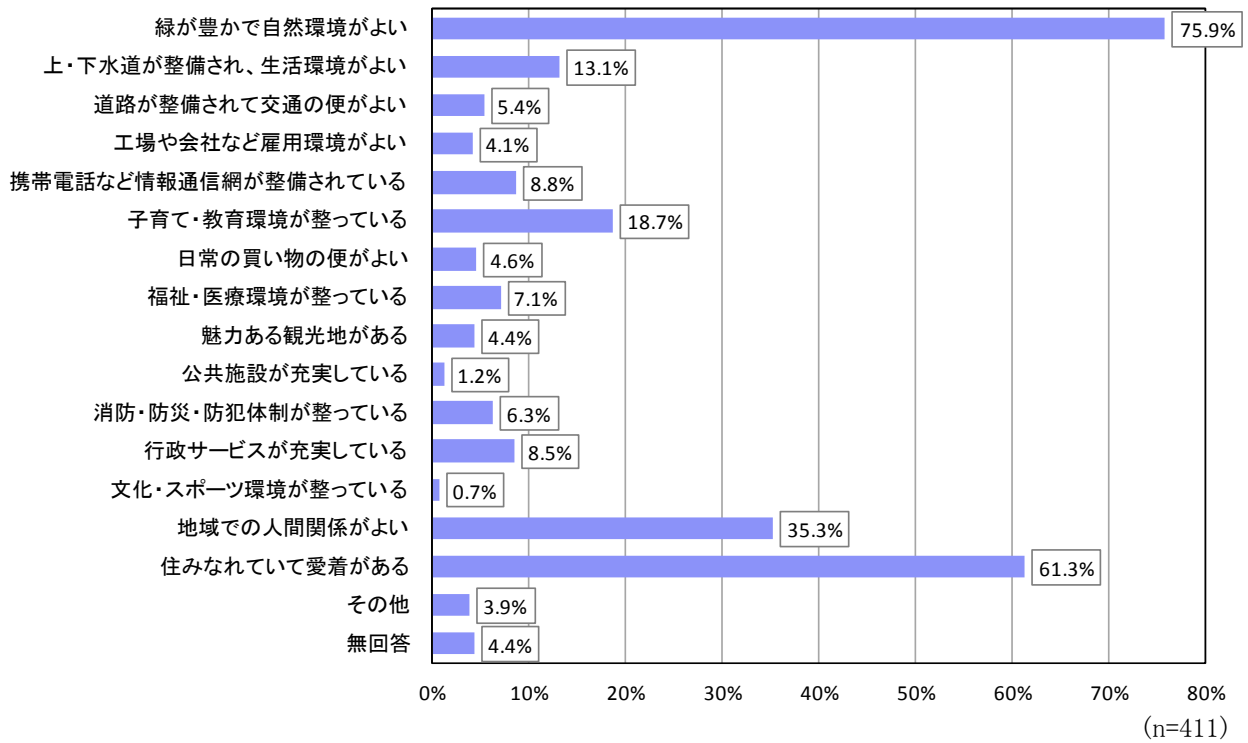
「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が48.9%（411人）となっており、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた『住みにくい』の18.2%（153人）を大きく上回っています。



### ②矢祭町に住みやすい理由

「緑が豊かで自然環境がよい」が75.9%（312人）と最も多く、次いで「住みなれていて愛着がある」が61.3%（252人）、「地域での人間関係がよい」が35.3%（145人）となっています。

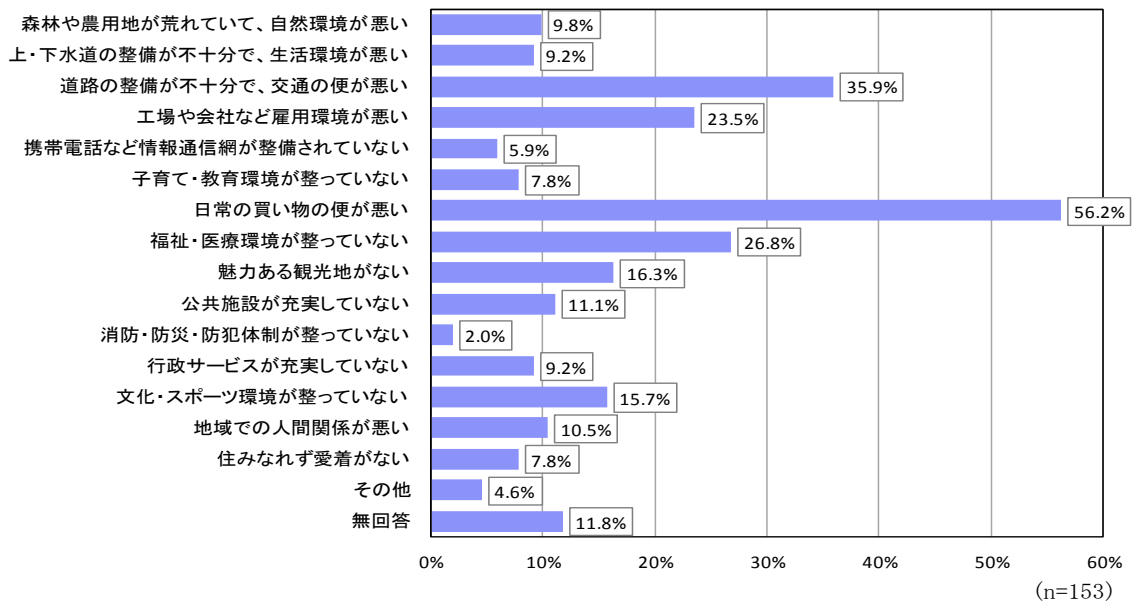
● 矢祭町に住みやすい理由



③矢祭町に住みにくい理由

「日常の買い物の便が悪い」が56.2%（86人）と最も多く、次いで「道路の整備が不十分で、交通の便が悪い」が35.9%（55人）、「福祉・医療環境が整っていない」が26.8%（41人）となっています。

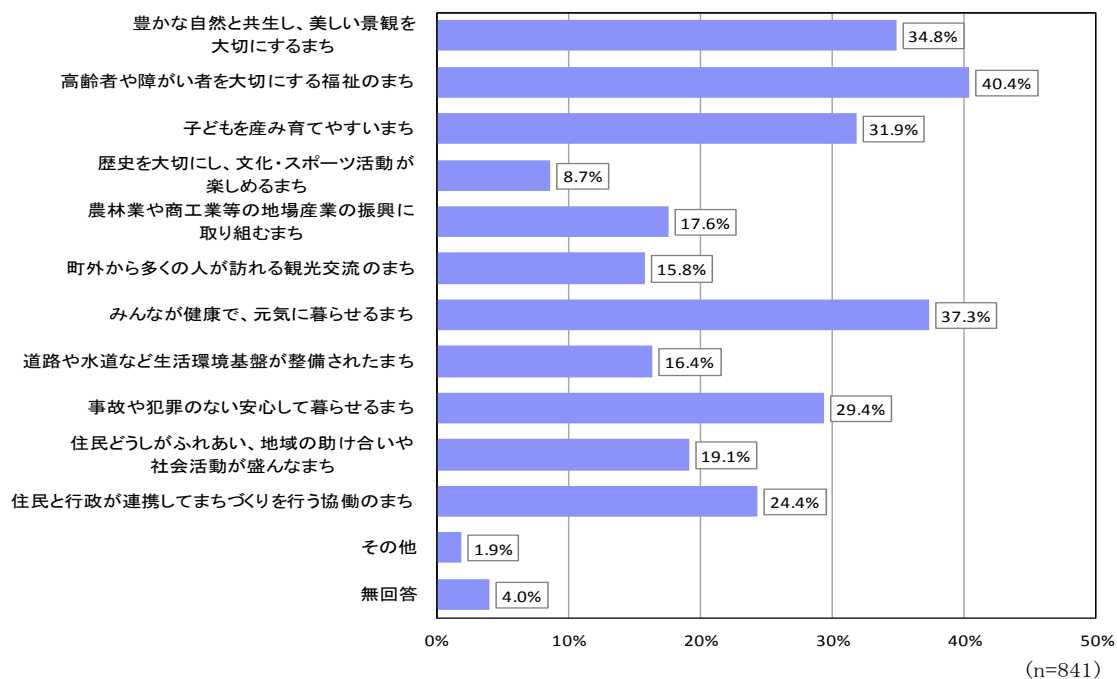
● 矢祭町に住みにくい理由



#### ④矢祭町の将来像

「高齢者や障がい者を大切にする福祉のまち」が40.4%（340人）と最も多く、次いで「みんなが健康で、元気に暮らせるまち」が37.3%（314人）、「豊かな自然と共生し、美しい景観を大切にするまち」が34.8%（293人）となっています。

● 矢祭町の将来像



以上のアンケート結果からは、豊かな自然を活かしながら、交通利便性の向上や商店街の活性化等地域の商店の維持・増加や医療・福祉の充実を進めることが求められています。第5次総合計画策定における町全体として目指すべき目標となります。

## 「第5次矢祭町総合見直し計画」町民アンケート調査

「第5次矢祭町総合見直し計画」の策定にあたり、まちづくりに関する「町民アンケート調査」を実施しました。

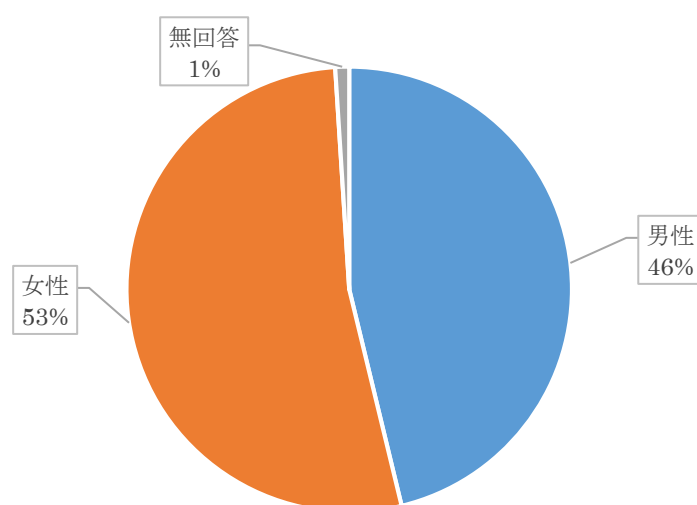
本調査の配布・回収状況は以下の通りです。

### <町民アンケート調査>

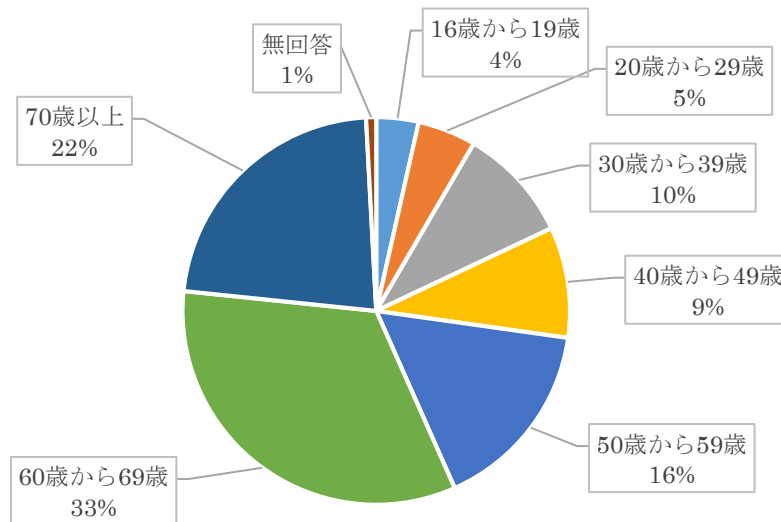
項目		内容
調査対象者		町内在住の16歳以上80歳未満の方
実施時期		平成30年12月～平成31年1月
配布・回収状況	配布数	1,302票
	総回収数	595票
	回収率	45.7%
	内、有効票	595票

## 1 回答者の属性

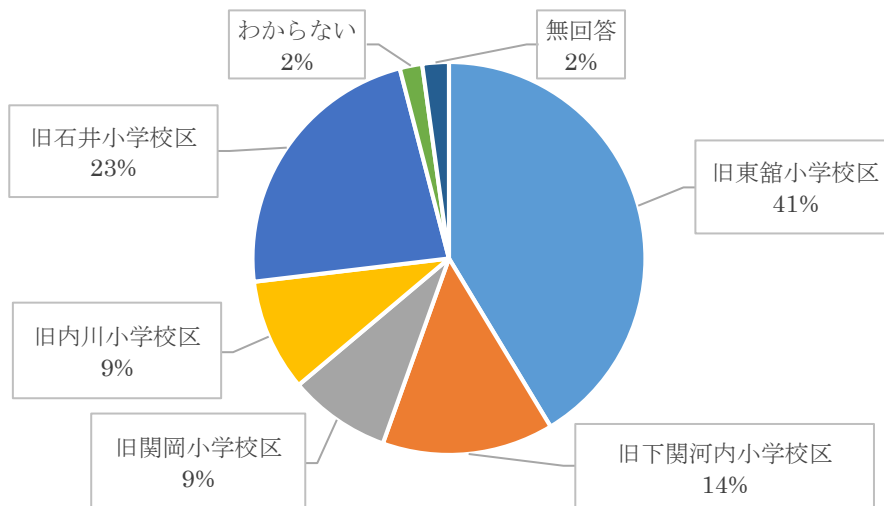
- ① 回答者の内訳は男性46%（275人）、女性53%（314人）、無回答が1%（6人）となっています。



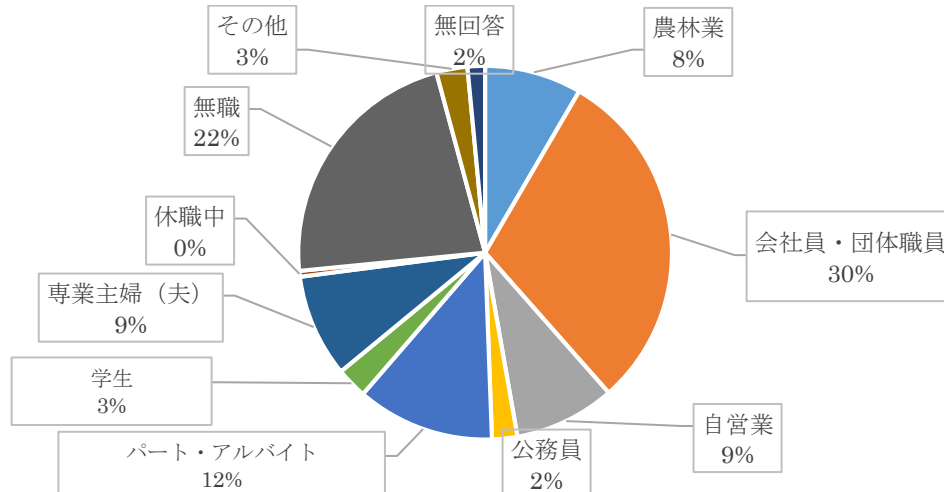
## ② 回答者の年齢層別



## ③ 回答者の地域別



## ④ 回答者の職業別

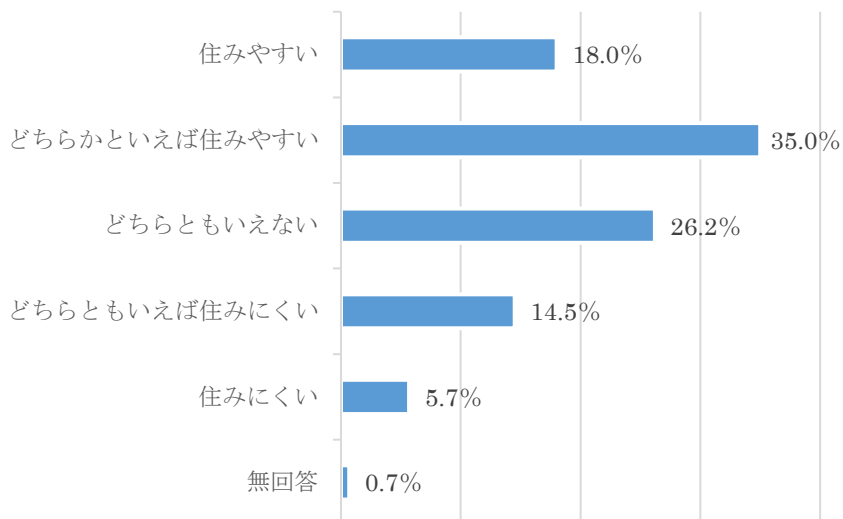


## 2 町民の意識

### ① 矢祭町の住みやすさ

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた数が 53.0% (315 人) となっており、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた数の 20.2% (120 人) を大きく上回っています。

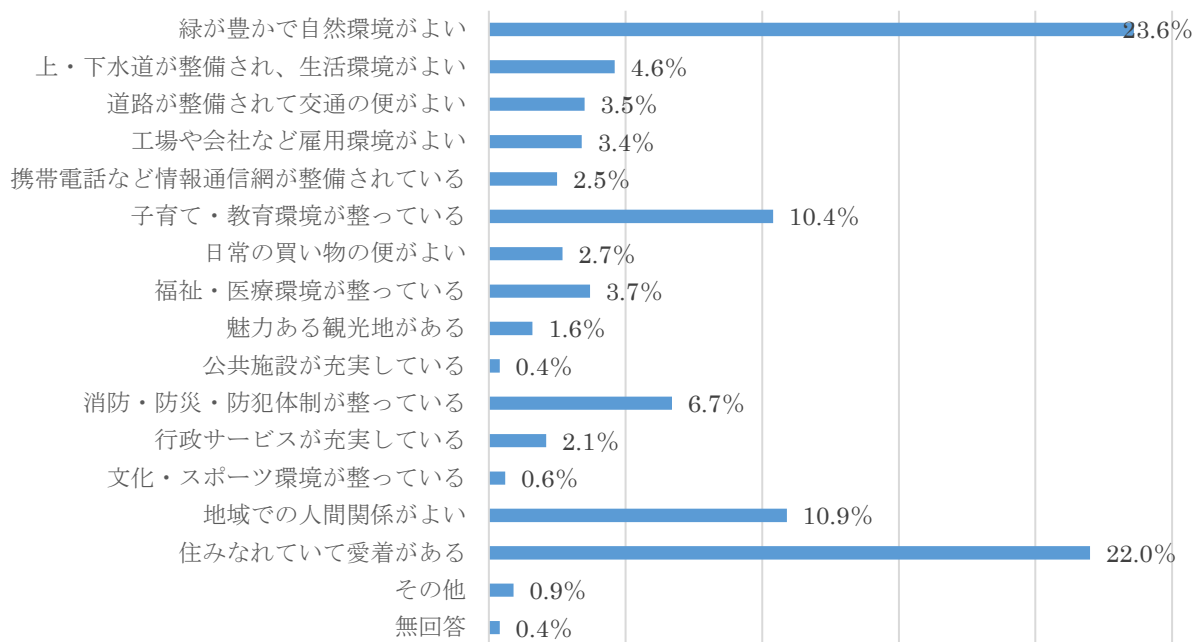
#### ● 矢祭町は住みやすいか



### ② 矢祭町の住みやすい理由

「緑が豊かで自然環境がよい」が 23.6% (244 人) と最も多く、次いで「住みなれていて愛着がある」が 22.0% (227 人)、「地域での人間関係がよい」が 10.9% (113 人) となっています。平成 27 年度調査時と同様の傾向となっています。

#### ● 矢祭町の住みやすい理由

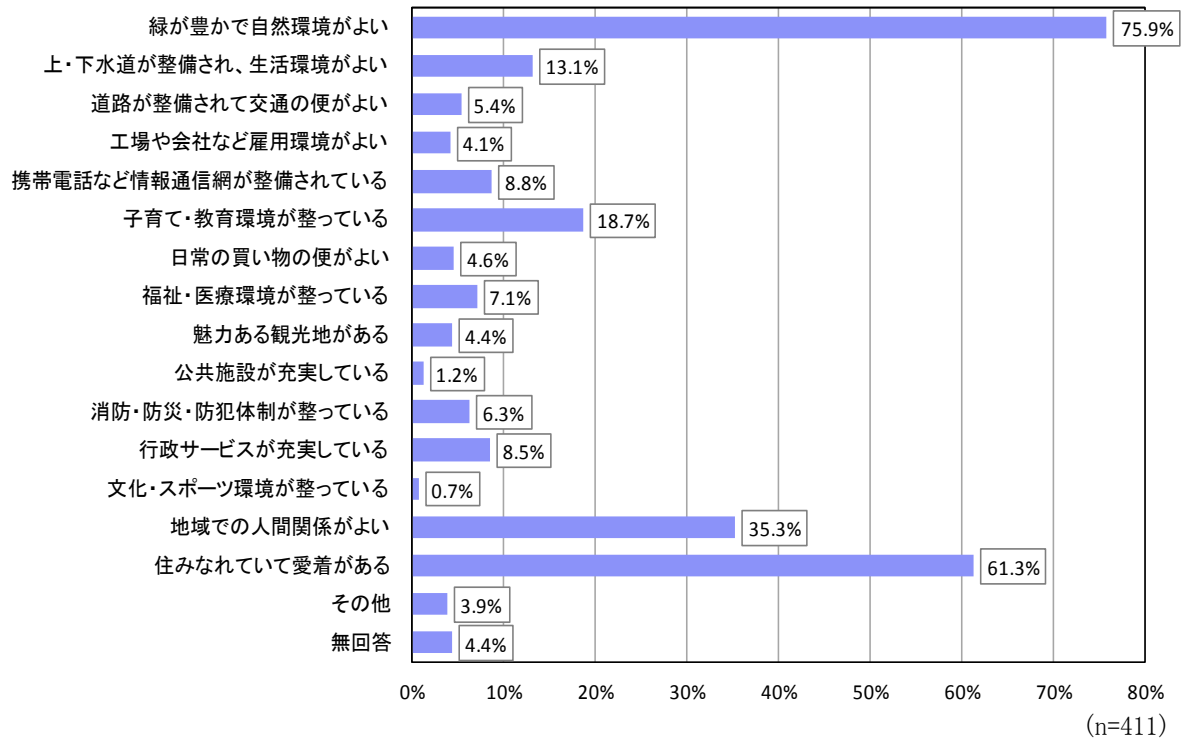


(n=1,033)



## 【H27 年度調査時】

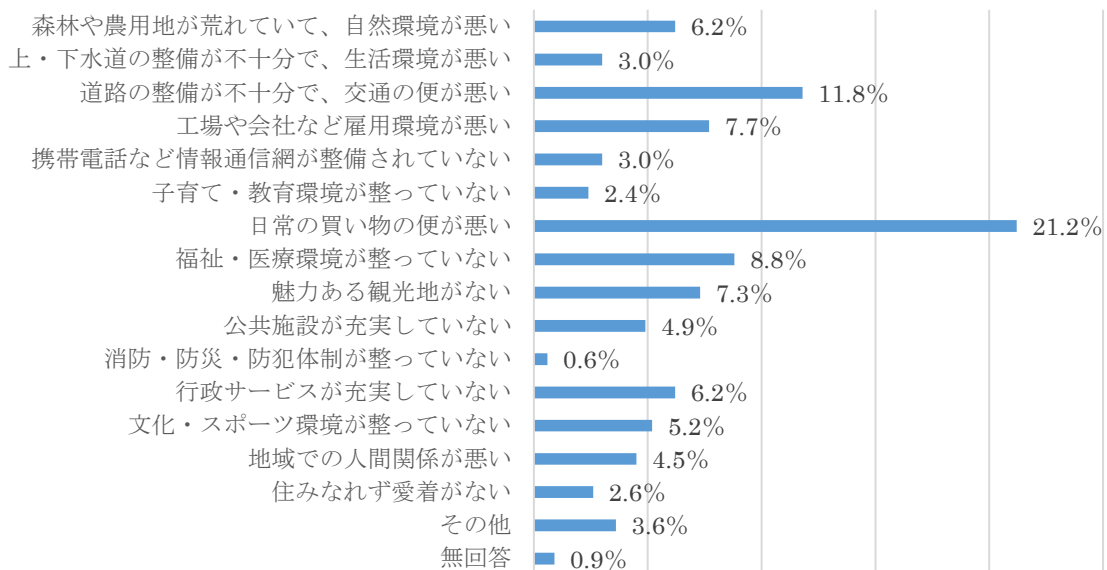
### ● 矢祭町の住みやすい理由



### ③ 矢祭町の住みにくい理由

「日常の買い物の便が悪い」が 21.2%（99 人）と最も多く、次いで「道路の整備が不十分で、交通の便が悪い」が 11.8%（55 人）、「福祉・医療環境が整っていない」が 8.8%（41 人）となっています。平成 27 年度調査時と同様の傾向となっています。

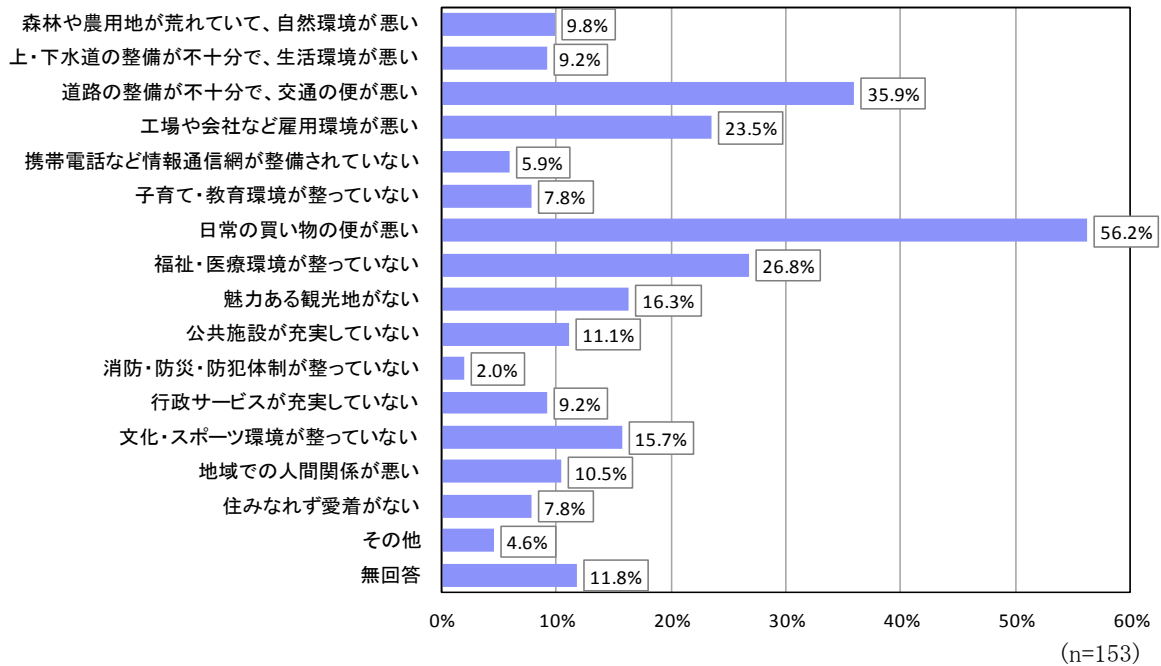
### ● 矢祭町の住みにくい理由



(n=466)

## 【H27 年度調査時】

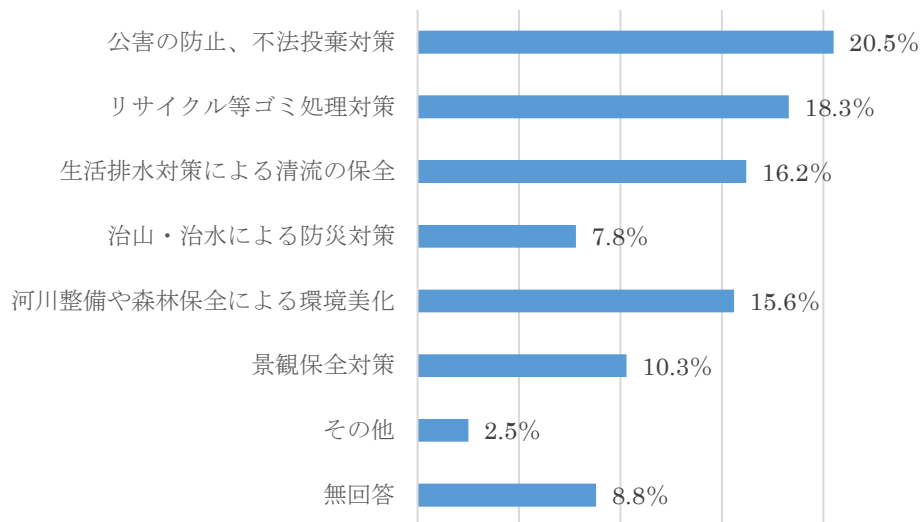
### ● 矢祭町の住みにくい理由



## 3 まちづくりに対する評価

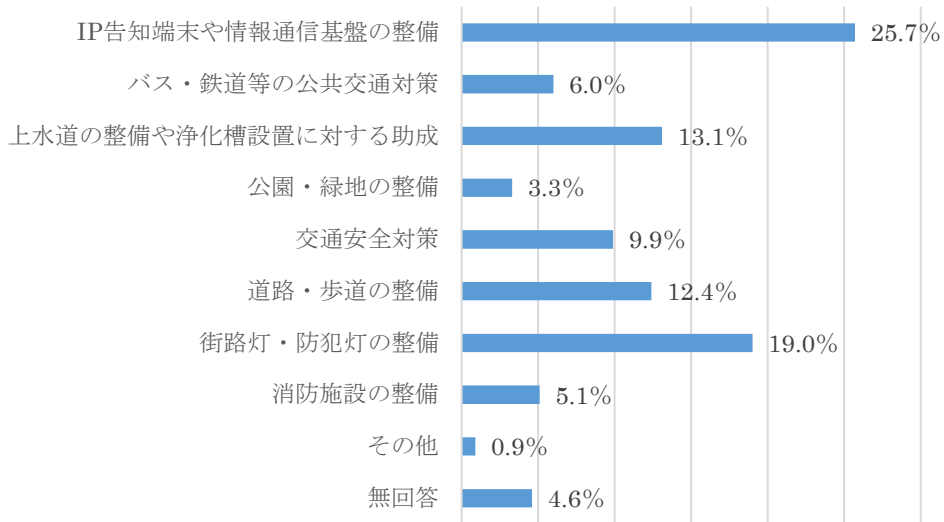
まちづくりに対する評価として、5 つ政策分野について質問しました。自然環境分野では「公害の防止、不法投棄対策」、生活基盤分野では「IP 告知端末や情報通信基盤の整備」、産業・雇用分野では「地域おこし協力隊による地域活性化」、教育・生涯学習分野では「矢祭小学校の開校や教育施設の整備」、健康福祉分野では「介護サービス等の高齢者福祉の充実」がそれぞれ評価されています。

### ● 自然環境分野



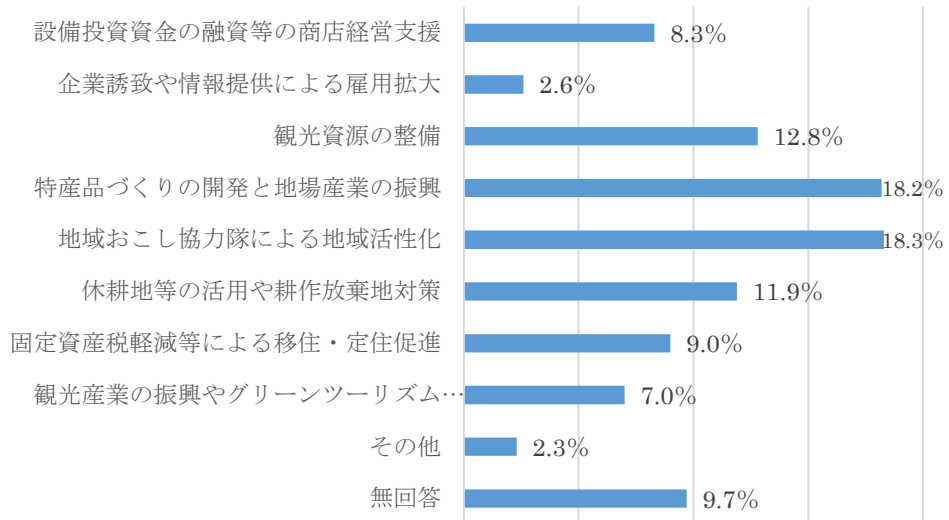
(n=1,034)

## ● 生活基盤分野



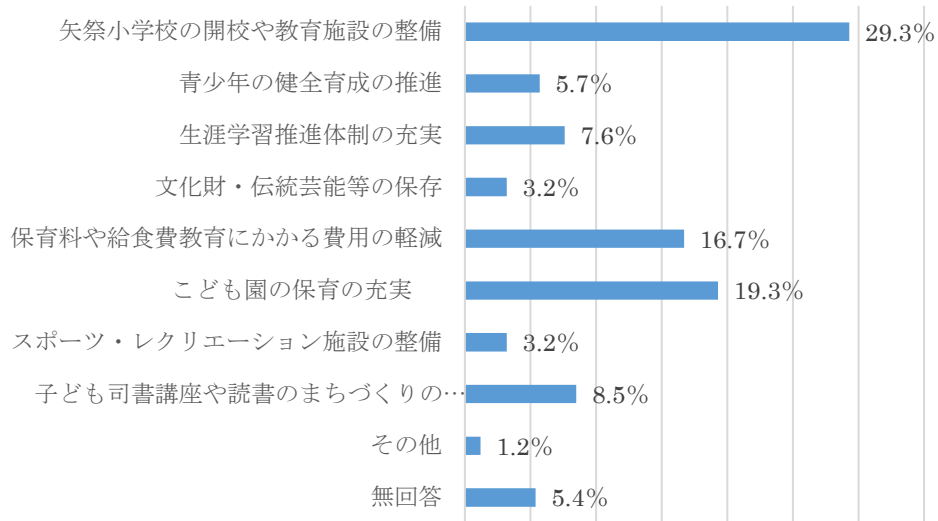
(n=1,092)

## ● 産業・雇用分野



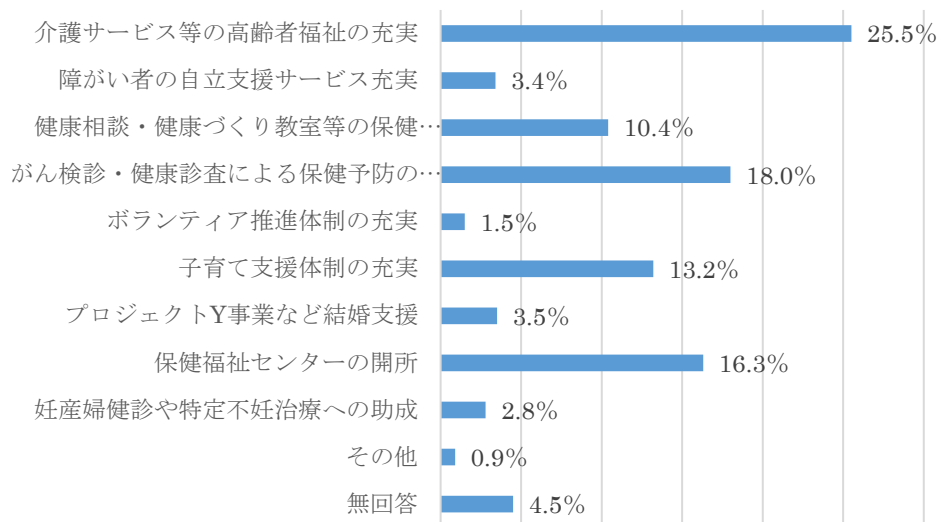
(n=1,015)

## ● 教育・生涯学習分野



(n=1,079)

## ● 健康福祉分野



(n=1,093)